

3つの転換期を捉えて

金沢星稜大学人間科学部
教授 開 仁 志



■待機児童対策から人口減少対策へ（転換期①）

日本は人口減少社会に入っていると言われていま
す。少子高齢化に加え、昨今のコロナ禍の影響もあ
りその動きは加速しているようにも見えます。待機
児童対策から、人口減少対策への大きな転換期を迎
えていると言えるでしょう。もちろん、地域によっ
て重点となる課題には違いがあることから、まずは、
自園の置かれている地域の現状を踏まえることが重
要となります。そのために、例えば、地方版子ども
子育て会議への積極的な参画等を通じて、今後の人
口推計を捉え、園の置かれている実情を発信し、自
治体、その他関係機関との連携を強化していくこと
がより一層重要になってくると考えられます。子ど
もと子育てに優しいまちづくりの視点から、協力体
制を構築することで、必要な施策や予算措置その他
の取組が計画的に為されていく礎となります。

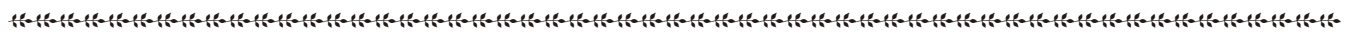
■量から質へ（転換期②）

一般的に、教育とは、知識の量を増やす、できる
ことを増やすといった量の拡大というイメージが強
かったのではないのでしょうか。ですが、様々な研究
結果から乳幼児期に育む力として、非認知能力（社
会情動的スキル）が注目されてきました。興味・関心
・意欲をもち、仲間と共に粘り強く物事に取り組むこ
とが、小学校以降の教育で中心となる認知能力向上
の土台となり、将来よりよい人生をおくるための基
礎となると言われています。留意点としては非認知
能力と認知能力は別々に育つというより絡み合っ
て育まれるということです。このことは、幼稚園教育
要領等に位置づく「育みたい資質・能力」「主体的
・対話的で深い学び」という文言に明確化されてい
ると言えます。では、このような量から質への転換は、
自園が大切にしてきた「建学の精神」の転換を迫る
ものでしょうか。そうではなく、「こんな子どもに

育てたい」というぶれない理念に向けた教育のプロ
セスを、科学的見地を生かして再構築していく営み
と感じます。幼児教育では、「学問」を系統的に配
列した「教科」ではなく、子どもの「発達」を見る
ための視点「領域」で捉えてきた歴史があります。
認定こども園化で低年齢児を受け入れる際に、教育
内容の簡単なものから低年齢児におろしていくとい
う発想ではなく、0歳から6歳までの一人一人の
子どもの発達のプロセスを見通して、何が育ったの
か、何が育とうとしているのかという子ども視点で
カリキュラム・マネジメントを行っていく発想が求
められると言えるでしょう。

■トップダウン型から分散型・協同的リーダーシ ップへ（転換期③）

上記のように大きな転換期を迎え、変化の激しい
時代にカリスマ的・トップダウンで変革を進めてい
くことで迅速・適切に対応していくという考えもあ
るかと思います。ですが、一人一人の保育者は、常
に管理職のように社会全体・園全体を意識する立場
にはなく、上意下達だと、とまどい受け身になりが
ちかもしれません。そこで、一人一人の意見が反映
されるボトムアップの視点が必要となります。さら
に、令和4年、児童の権利に関する条約の精神に
則り「こども基本法」が成立しました。子どもの権
利の中でも子どもを主体として尊重するものとして
「意見表明権」があります。子どもが自分に関する
ことに参画し、自由に意見を言えることがこれから
の民主的な社会をつくることにつながります。保育
者が、子どものモデルとなるためにも、組織のどこ
にでもリーダーシップが存在し、協力して学び合え
る関係性が大切になります。一人一人の保育者が当
事者意識をもち、共に成長し合う組織づくりのため、
分散型・協同的リーダーシップが求められています。



園庭で育む子どもたちの好奇心

全日本私立幼稚園連合会
会長 田中 雅道

新入園児も落ち着いた4月下旬。京都御所の出水の小川に年中組が園外保育に出かけた時のことです。小川で水遊びをしていると桜の花びらが流れてきました。花びらに興味を持ったK君は、どこから流れてきたのか上流をたどっていきました。そうすると、枝垂桜が水面近くまで垂れ下がっており、そこから花びらが落ちてきたのです。興味を持ったK君は、枝垂桜の枝を少しだけ引っ張ってみました。そうすると花びらが新たに水面に落ちて流れ始めました。さらに興味を持ったK君は、今度は力を入れて枝を引っ張り始めました。ここで私は、彼に声をかけて枝垂桜の枝を引くことをやめさせました。同じ場面を見ていた担任に声をかけ、その後K君は小川の中で遊びを続けていました。

園外保育から帰った後、担任と今日の場面のどこで声をかけるべきか話し合いました。担任は「K君はとことん興味を追求する性質なので、彼の適度なところでおさめて行動するというよりかは、どこかで声をかけてストップしなければならない」と考えていたようです。そのタイミングは私が声をかけたのと同じくらいを想定していたようでした。御所という公共の遊び場で一人の子どもの興味を引き出す行動とはいえ、許される範囲は決まっています。

これが園庭の桜の花の枝を引く行動であれば、強く引いたり弱く引いたりして花が落ちる量を観察したり、知的好奇心を満たす行動をどこまで許すかという範囲が広がってきますが、公共の場であればそれが許されないことを彼に伝えることも大事な役割です。

都会のビルで保育を行っておられる保育所の方が、町の公園すべてが私たちのもので、様々なところに出かけて行って自然を体験できているので、園庭がないことは問題がないという発言をされておられますが、その場合、公園で体験できる自然へのかわりには限定的であり、そこから発生してきた興味を深めるといった活動は公園ではできません。枝垂桜の花びらが落ちるところまでは公園で体験できても、枝を引く強さによって落ちる花の数に違いが出てくるかどうかの知的好奇心を満たす活動は、枝を引いても許される範囲が園の意図で制御できる環境があってこそ実現できる活動です。

ここで強調しておきたいことは、幼児期に培われる非認知能力の多くは、園庭のように自由に環境を変えられる場面で育つことがほとんどだということです。当然園内の活動であっても限度なく何でも許されるということではありませんが、子どもが不思議だと感じたことを実際に行動で試してみる場面が許されるのは園庭だということ、もう一度しっかりと多くの方々に知っていただきたいのです。私立幼稚園・私立幼稚園由来の認定こども園で園庭を持っていない園はありません。すべての園が知的好奇心をはぐくむ土俵である園庭を有していることは、私たちの大きな財産であると考えています。

全日本私立幼稚園連合会・全日本私立幼稚園 PTA 連合会からの報告

全日本私立幼稚園連合会
加盟園 各位
全日本私立幼稚園 PTA 連合会
関係者 各位

本日、全日本私立幼稚園連合会の前会長及び前事務局長が無印私文書偽造罪及び有印私文書偽造罪で起訴されました。

全日本私立幼稚園連合会の元役職員が無印私文書偽造罪及び有印私文書偽造罪という重大な犯罪によって起訴されたことは誠に遺憾であり、加盟園並びに保護者の皆さまや私立幼稚園等の関係者をはじめとする、多くの皆様方に多大のご心配とご迷惑をおかけしましたことについて、改めてお詫び申し上げます。

偽造罪の関連につきましては、両名が起訴されたことに伴い、両名に対する刑事裁判が開始することとなりますので、当該刑事裁判において「有罪」とされるかどうかが重要な点になってくると考えています。

なお、偽造罪関連とは別途、両名による業務上横領罪につきましては、引き続き捜査が行われていると承知しておりますので、両団体としては、刑事裁判及び捜査を通じてのさらなる真相解明を期待し、両名に対する相応の刑罰を求めるとともに、引き続き、捜査に全面的に協力してまいります。また、民事裁判を通じて横領事件により失われた損害についてできる限りの回復を求めべく尽力を続けてまいります。

両団体では、失墜した信頼を回復するために、現在、一丸となって適正な運営を実現するための諸方策を講じるなど、ガバナンスの向上に努めているところであります。今後も刑事裁判や民事裁判についての進捗について、適切な時点において、皆様にご報告をさせていただきます。

引き続き、皆さま方のご理解とご支援を賜りたく、何卒よろしくお願い申し上げます。

令和4年8月3日

全日本私立幼稚園連合会
会長 田中 雅道

全日本私立幼稚園 PTA 連合会
会長 月本 喜久

第 37 回全日本私立幼稚園連合会

設置者・園長全国研修大会（長崎大会）

第 37 回全日本私立幼稚園連合会設置者・園長全国研修大会は、「すべての子どもの幼児教育の充実・発展を考える～社会状況の変化を乗り越える園を目指して～」をテーマに、来る 10 月 24 日（月）、25 日（火）に長崎県長崎市で開催します。皆様のご参加をお待ちしております。

開催要項

- テ ー マ 「すべての子どもの幼児教育の充実・発展を考える～社会状況の変化を乗り越える園を目指して～」
- 期 日 令和 4 年 10 月 24 日（月）、25 日（火）
- 開催形態 対面およびオンライン（オンデマンド配信）を併用した形式
※万全な感染対策を行ったうえで開催させていただきます。
- 会 場 長崎県長崎市・出島メッセ長崎
〒850-0058 長崎市尾上町 4-1 Tel：095-801-0530
- 対 象 設置者・園長ならびに後継者、またはこれに準ずるもの
- 定 員 対面形式：600 名（定員になり次第締め切らせていただきます）
オンライン形式（オンデマンド配信）：定員なし
- 参加費 対面形式 15,000 円／オンライン形式 10,000 円
- 懇親会費 10,000 円
- 申込方法 幼稚園ナビから申し込みを受け付けます。まだ幼稚園ナビにご登録をされていない方は是非この機会にご登録をお願い申し上げます。また、研修会の内容および申し込み方法等の詳細につきましては、本連合会のホームページ (<https://zennichishiyouren.com>) よりご確認ください。

経営研究委員会・佐々木慈舟委員長からのご案内

新しい資本主義の名の下に「こども政策」は国の重点投資分野となり、奇しくもコロナ禍による少子化なども相まって、いよいよ幼児教育・保育は量から質の向上が問われる時代がやってきます。

今大会では「すべての子どもの幼児教育の充実・発展を考える～社会状況の変化を乗り越える園を目指して～」をテーマに、新しい文化を発信する街、長崎県より昨年 11 月に開館したばかりの出島メッセ長崎を会場として、3 年ぶりの懇親会も含め、2 日間での大会開催の準備を進めております。

1 日目は、教育者の在り方を問う記念講演、文部科学省担当官による行政報告、少子化を考える基調講演、2 日目には、（一財）全日私幼研究機構研究研修委員会ならびに全日私幼連政策委員会・経営研究委員会・認定こども園委員会による 4 分科会を開催します。また、オンデマンド配信により、オンライン形式の参加者だけでなく対面形式の参加者におかれましても、後日すべての分科会をご視聴いただけます。

多くの皆様方が現地にて、または配信にて、充実した設置者・園長研修大会を受講できるよう精察してまいります。

【第1日】 / 10月24日 (月)

12:00 ~ 12:45 **受付**

12:45 ~ 13:30 **開会式**

13:40 ~ 15:00 **記念講演 「なぜドン底の学校と子どもたちは立ち直ったか」**

【講師】 学校法人奥田学園 理事長／創成館高等学校 校長 **奥田 修史 氏**

おくだ なおふみ / 1971年生まれ、長崎県出身。

ハワイ大学卒業・帰国後、祖父の代から続く学校法人奥田学園に就職。32歳で理事長、34歳で創成館高等学校の校長に就任。その後、学校は「偏差値なし」まで落ち込み、経営破綻寸前の状況を数年で立て直すことに成功。「九州大学」「東京外国語大学」など有名難関大学への進学実績を伸ばし、部活動においても野球部が甲子園常連校へと成長。今や、第一志望入学率90パーセントを超える人気校へと変貌を遂げた。その経営手腕は各方面より高く評価されており、民間の経営者を含め、多くの関係者が来校している。

15:10 ~ 16:30 **行政報告**

16:40 ~ 17:40 **基調講演 「少子化の要因と対策—新しい家族の創成を目指して—
～幼稚園・認定こども園から発信できること～」**

【講師】 新潟大学 経済科学部

教授 **溝口 由己 氏**

みぞぐち ゆうき / 1966年生まれ、愛知県生まれ。

早稲田大学卒業。北京大学博士課程修了(博士(経済学))。

2019年～2022年経済理論学会幹事。中国経済論専攻。

少子化の原因は、未婚率上昇です。しかし、人びとが結婚しなくなっただけからではありません。結婚意思は昔も今も同じなのに、結婚しなくなったのです。その原因は、「家族をもつ人生選択」のコスパが悪化したからだと考えています。人々の生きる自由が増大するような「新しい家族」を提案することで、望む人が結婚しやすい社会を展望します。

17:40 ~ 17:50 **全日本私立幼稚園連合会からの報告**

17:50 ~ 18:00 **(一財)全日本私立幼稚園幼児教育研究機構からの報告**

18:30 ~ 20:00 **夕食懇親会**

本大会の内容については、全日私幼連ホームページ (<https://zennichishiyouren.com>) からもご覧頂けます。

9:00 ~ 12:00 研究講座

1. 教育 『園長・リーダーが知っておくべき教育的課題～良質な園として存続するために～』

幼児教育が人生の基礎を培うというエビデンスを得て、すべての幼児に良質な幼児教育を保障するための幼児教育無償化の開始から、すでに3年が経過しました。幼児教育・保育等の財源として公的な資金が投入され、保護者の負担が大きく軽減されましたが、ここ数年は社会情勢の変化や新型コロナウイルス感染症の影響によって、従来予測されていた少子化傾向に一層の拍車がかかっています。また、大学生人口の全体的な減少と併せて養成校卒業生の保育現場離れの傾向も見られます。小学校の学習指導要領で取り上げられた、主体的・対話的で深い学びは、私立幼稚園・認定こども園においては従前から取り組まれているものですが、それが周囲に認知されたとは言い難いのではないのでしょうか。私たち私立幼稚園・認定こども園が10年後も良質な園として存続するためにはどのようなことに取り組んでいかなければならないのでしょうか。私たちには従来からの私学の独自性や多様性を大切にしつつも、公教育を行う施設としての役割を担っているという自覚と責任が求められています。園児を集めるためだけでなく、幼児を理解し育てるためには、就園前から小学校や大学までをつなげた視点で子どもの姿を見通すことが必要です。そこで、中央教育審議会で示された幼児教育の質向上にかかわる話題も含めて話題提供すると共に、それを踏まえて各園がどのような取り組みを進めることが大切なのかを「主体的な遊び」「学びを繋ぐ」「資質向上のための育成・研修」「人材(財)確保」「評価」等をキーワードにしながら協議したいと考えています。教育に関わる部会は2年ぶりの開催となります。幼児教育の質向上のために、皆がつながり合い、伝え合い、学び合う機会となりますよう、皆さまのご参加をお待ちしております。

- ①基調講演「これからの園長・リーダーに求められるもの」
【講師】 (一財) 全日本私立幼稚園幼児教育研究機構 理事長 安家 周一 氏
- ②パネルディスカッション
【パネリスト】 (一財) 全日本私立幼稚園幼児教育研究機構研究研修委員会 委員長 岡本 和貴 氏
(一財) 全日本私立幼稚園幼児教育研究機構研究研修委員会 委員長 賀門 康博 氏
(一財) 全日本私立幼稚園幼児教育研究機構研究研修委員会 委員 早川 成 氏
【コーディネーター】 (一財) 全日本私立幼稚園幼児教育研究機構 副理事長 宮下友美恵 氏

2. 振興 『新たな補助金の在り方と振興活動をデザインする』

- ①「今までの補助金」と「これからの補助金」の在り方を考える
施設型給付費は使途目的が明確な加算型の積み上げ方式です。私学助成は本質的に包括的な助成金であり、支出実績に合わせたものでもありません。その違いとして、経常費助成金のような使途が指定されていない包括的な補助金だけでなく、私学助成園にも加算方式のような「教育改革推進特別経費」もあります。こうした補助金が今後どのように充実していくのかを探り考えていきます。
- ②「振興活動」の多様性について多くの園が理解を深め、取り組むために
広域自治体のみならず、基礎自治体での振興活動も求められる時代となり、新たな振興活動について改めて整理し、市町村振興と都道府県振興の在り方の考えを深めます。またPTA・議会と議員・行政などに向けた振興活動の在り方についても考えていきます。
- ③ 処遇改善—私学助成や地域区分と最低賃金
人件費比率が多くを占める私たちの事業にとって、最低賃金や処遇改善そして求人問題は大きな課題です。私学助成の増額要望の根拠となるもの、地域区分の市町村格差を是正するための交渉材料などについて考えていきます。
- ④ その他

- 【講師】 文部科学省 担当官 調整 中
- 【パネリスト】 全日本私立幼稚園連合会政策委員会 委員 調整 中
- 【コーディネーター】 全日本私立幼稚園連合会政策委員会 委員長 水谷 豊三 氏

3. 経営 『これからの時代を地域で生き残るために必要な方策は何か考える』

平成28年に日本の統計史上初めて100万人を割り込んだ出生数は、わずか5年後の令和3年には、81万人にまで減少しました。これまでの国の施策は、小規模保育施設、家庭的保育事業並びに企業主導型保育事業など、量の拡充に重点が置かれてきましたが、現在は都市部の幼児教育・保育施設においても急激な少子化により定員充足率が落ち込み始めました。地方においてもより加速度的な少子化が見込まれていく中で、教員など教育・保育人材確保方策以上に、今後保護者に選ばれる幼稚園・認定こども園の運営が事業継続のための主たるテーマとなってきます。「量」から「質」へと重点が転換されていく時代の中で、各地の特徴のある事例を通じ、幼稚園・認定こども園にとって効果的な園運営のあり方を探りながら、それぞれの地域において今後必要とされていく方策を参加者の皆さんと一緒に考えていきたいと思います。なお、本講座は後継者向けの内容となっております。

- 【講師】 社会保険労務士法人財総研 特定社会保険労務士 安岡 知子 氏
- 【パネリスト】 全日本私立幼稚園連合会 副会長 角谷 正雄 氏
全日本私立幼稚園連合会経営研究委員会 副委員長 森本 嘉一 氏
全日本私立幼稚園連合会経営研究委員会 委員 堀江 眞嗣 氏
- 【コーディネーター】 全日本私立幼稚園連合会経営研究委員会 委員長 佐々木慈寿 氏

4. 認定こども園 『不確実な少子化社会の中でも、園運営を持続可能にする“パーパス経営”を考える』

新型コロナウイルス感染症の影響により出生数が過去最少を更新し、全国の885市町村が過疎地域に認定され、大都市圏においても待機児童急減となりました。保育人材が不足する一方、保育施設の定員割れが深刻化し、園運営に大きな影響を及ぼしています。特に地方ではその傾向が顕著で大都市との格差が広がっており、幼稚園由来以外の施設との競合も激化し、需要数よりも供給数が増えている状況です。いま少子化や新型コロナウイルス感染症などの予測不確実なVUCA社会が到来し、数年先の園運営の見通しすら難しい時代になりました。この変革の時代に多くの企業が“パーパス経営”を導入するところが増えています。確固たるパーパスを持った企業はコロナ禍においてもブレず、働き手のモチベーションも高揚しているといえます。パーパスとは「存在意義」「志(こころざし)」と訳され、一企業の利益追求だけでなく持続可能な社会に貢献する存在であることと定義します。これからの認定こども園運営においてもパーパス経営が重要であり、ミレニアル世代の価値観にあった人材確保や組織づくり、保護者や地域社会へサステナブルな課題の貢献など、その注目される理由について事例を通して探りたいと思います。子ども・子育て支援新制度施行から7年、11時間の無償化制度から3年が経過しましたが、一番重要であるウェルビーイングや理念を見すえ、パーパス(存在意義・志)経営について皆さんと一緒に考えていきたいと思います。

- 【講師】 内閣府 担当官 調整 中
神戸大学大学院 人間発達環境学研究所 教授 北野 幸子 氏
- 【パネリスト】 全日本私立幼稚園連合会認定こども園委員会 副委員長 石田 明義 氏
全日本私立幼稚園連合会認定こども園委員会 委員 鮎川 剛 氏
- 【コーディネーター】 全日本私立幼稚園連合会認定こども園委員会 委員長 濱名 浩 氏

令和5年度「児童福祉週間」 標語の募集について

毎年5月5日の「こどもの日」から1週間を「児童福祉週間(5月5日～5月11日)」と定めて、児童福祉の理念の普及・啓発のための各種行事を行っています。令和5年度の児童福祉週間に向けて、その象徴となる標語を募集します。詳細については、(公財)児童育成協会のホームページ <https://www.kodomo-shiro.or.jp/jigyo/hyougo> を御参照いただくか、下記お問い合わせ先まで御照会ください。

■募集期間

令和4年8月1日(月)～9月30日(金)
※郵送の場合は、当日消印有効。

■募集内容

子どもたちを応援する標語や、未来に向けての子どもたちからのメッセージとなる標語。

■主催者

厚生労働省(社福)全国社会福祉協議会
(公財)児童育成協会

■お問い合わせ先

公財財団法人 児童育成協会「標語募集」係
TEL: 03-5357-1174
FAX: 03-5357-1809

令和4年

秋の全国交通安全運動

内閣府では、交通事故防止の徹底を図ることを目的に、秋の交通安全運動を実施しています。

令和4年秋は、「子供と高齢者を始めとする歩行者の安全確保」「夕暮れ時と夜間の歩行者事故等の防止及び飲酒運転の根絶」「自転車の交通ルール遵守の徹底」を運動の重点として、普及啓発活動を全国各地で一斉に行います。

詳細につきましては、内閣府のホームページをご確認ください。

<https://www8.cao.go.jp/koutu/keihatsu/index-ke.html>

- 運動期間: 9月21日(水)～30日(金)
- 交通事故死ゼロを目指す日: 9月30日(金)



人材育成・人材確保の悩みに解決のヒントをご提案します

園のリーダーのために 保育ナビ

予測困難な時代に対応した保育・園運営に役立つ、「国の動き」「人材育成」「園経営」「保育内容」「子どもの姿ベースの指導計画」「乳児保育」「小学校との接続」など必須の情報をお届けします。

B5判 80ページ 定価1,100円(本体1,000円+税10%)

「子ども主体の保育」
「小学校との接続」など、
注目テーマも掲載!

誌面と
連動した動画を
毎月配信!

本社: 〒113-8611 東京都文京区本駒込6-14-9 <https://www.froebel-kan.co.jp>
ご注文・定期購読のお申し込みは 03-5395-6608 子育て支援事業部まで

キンダーブックの **フレイベル館**



2021年12月号より一般社団法人家族・保育デザイン研究所、東京大学名誉教授である汐見稔幸氏による年間連載を開始いたします。教育学、教育人間学、保育学、育児学を専門として第一線で活躍されています。幼児教育について注目されている今、より一層理解を深め、日々の幼児教育の参考にしてみてください。

子どものありのままに共感する練習

一般社団法人家族・保育デザイン研究所
東京大学名誉教授 汐見 稔幸

先号で、最近の若い世代の多くが自由に自分をつくるチャンスをていねいに与えられず、社会や仲間の気持ちを先取りして、社会的に排除されないように気を遣っている生き方を強いられているのではないか、という意見があることを述べました。

どこかでいつか与えられたルール（もどき）が頭にいっぱいあって、それに沿って行動しているかどうかについ関心を向けてしまう。そういうまなざしで幼児をみるので、危険、ケガ等にばかり関心がいつて、子どものわくわくドキドキに共感できなくなってしまう、そうした保育者志望の学生が増えている気がするのだが、ということでした。

人間が自由な主体となるために大事なことは、特に子どものときに、自分のしたいこと、やりたいことを自由にやって、そういう行動をする自分の心を大切にし、その興味・関心の世界を自分で観察する

ことです。自分は何が好きか、何をしているときに生きがいを感じる人間かを自分で見つけるということです。それを応援することが保育・教育であり、自分探し応援です。子どもにとって大事なことは、好きなことややりたいことに自由に取り組み、その過程で、本当に好きか、気分でそう思っただけか、本当に好きになりそうか等を考え、自分がこれからの生活の中でこだわってみたいことを見つけることです。

幼い頃に、自分の好きなこと、したいことではなく、親が喜ぶこと、教師や大人が評価してくれることばかりをして大きくなった人間は、長じると、「自分の中に、本当の私がない！」ということに気がつき、激しく反抗したり落ち込んだりすることが多いことが発見されて、それをアダルトチルドレンと呼んだことは記憶に新しいと思います。

幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領に準じた指導計画

月刊 保育とキャリア

毎月2日 発売



ひかりのくに株式会社

本社/〒543-0001 大阪市天王寺区上本町3-2-14 TEL.06-6768-1151代表
支社/〒175-0082 東京都板橋区高島平6-1-1 TEL.03-3979-3111代表

その意味で、同調圧力の強い教育風土の中で育った若い世代は、同調すべき価値の世界に過敏で、自分の本心でない世界に過剰に適応してきたのかもしれない。だとすると、保育をしながら、自分の中の本当の自分を改めて見つけることが課題になっているといえるでしょう。

そのために、保育を仕事とすることをめざす人は、保育の仕事しながら、自分見つけをするために、様々な本物の文化と出会うことを自分に課すことがいいと思います。すぐれた映画や劇を観る、文学に触れる、他職の人の話を聞く、外国に出て異文化と触れる、等をぜひ貪欲にしてほしいと思いますし、それを本心で楽しんでほしい。そして園長等のリーダー役の人は、若い世代に多様な自分探しをすることを応援してほしいと思います。

もう一つ、大事なことは、子どもをありのまま受容する練習をすることだと思います。

看護の仕事の基本をわかりやすく書いた『看護の基本となるもの』(V.ヘンダーソン)には「ある意味において看護師は、自分の患者が何を欲しているのかのみならず、生命を保持し、健康を取り戻すために何を必要としているのかを知るために、彼の”皮膚の内側”に入り込まねばならない」という有名な記述があります。患者の皮膚の内側に入れとはもちろん比喩的な言い方ですが、看護を仕事とする人には、そこまで決意がいるということをわかりやす

く表現しています。

同じことは保育を仕事とする人にも必要だと思います。

そのために、まずは、日々の保育の営みの中で、子どもたちが何かに没頭していたり、ワイワイ楽しそうにしていたり、何かに逡巡していたり、等々の生活をしていたら、その生活ぶりをありのまま、危ないからやめて！等の規制をできるだけしないで、じっと観察することを義務づけてはどうでしょう。

その日の保育の基本が終わったあと、その観察したエピソードを持ちよって、その遊びや活動によって、子どもは何をしようとしていたのか、何が面白くてやろうとしていたのか、やめたとしたらその理由は何か、そこで子どもが学んだことは何か、等をできるだけ子どもの気持ちになって想像して語り合おうのです。そういう形で子どもの皮膚の内側に入り込もうとするわけです。

その繰り返しによって、子どもは保育者である私とは異なる仕方で、その子の命の世界をそれぞれ必死で輝かせようとして生きていることが徐々に見えてきます。それにいつしか共感するようになる。そういう形で子どもから日々学ぶ。こうした努力を続ければ、保育をしている人の方も、子どもと共感することで自分の中の子どもを取り戻していくでしょう。



チャイルドブックの月刊保育雑誌

2022年度のPotは
大特集 & プチ特集の
W特集で
保育力アップ!

さらに「Pot 指導計画」は
毎月付録になりました。
指導計画はポットにおまかせ!

定価1,100円(本体1,000円+税10%)
www.childbook.co.jp/pot/

〒112-8512 東京都文京区小石川 5-24-21
TEL 03-3813-2141 FAX 03-3814-3392
www.childbook.co.jp/pot/

ご注文は、貴国担当のチャイルドブック販売店
または書店まで。

チャイルド本社

幼保認こ合同就職説明会 in ぐんま 2022

この就職説明会を主催した「群馬県幼保認こ委員会」は、(一社)群馬県私立幼稚園・認定こども園協会、群馬県保育協議会、群馬県認定こども園協会の3団体から構成され、就職説明会の他に、「園マッチぐんま」という求人・求職サイトを運営し、年間を通して求職者と園の両者にとって、良いマッチングに向けた活動や研修会を実施しています。

さて、今年度で4回目になる3団体合同就職説明会は、7月10日に群馬県との共催で高崎市のコンベンション施設で開催されました。開催にあたり、県内及び近隣の幼稚園教諭・保育士養成校には学生に、県には潜在保育士へのチラシ配布を依頼する等、周知に努めました。

当日は、県内より122園(本協会58園)が参加し、県社会福祉協議会の福祉人材センターとハローワーク前橋がブースを設置いたしました。

昨今の状況を鑑み、安心して説明会に参加していただけるよう、新型コロナウイルスの感染防止に努めました。会場入り口にはサーマルカメラを設置して来場者の発熱の有無を確認するとともに、スタッフや施設等の来場者も含め、入場を許可された参加者にはリストバンドを装着してもらい、一目で受付を済ませてから入場していることが判別できるようにしました。

当日行ったアンケートより、求職者356人のうち回答した9割以上が今回の説明会が「有意義だった」とし、参加園のうちおよそ8割が「期待通り」または「期待以上の手ごたえだった」と回答しました。また、養成校は3団体合同での開催に、9割が「大変良い」1割が「良い」と回答しています。

以上のアンケート結果を見た限りでは、一定の成果を残せたと思います。

(一社)群馬県私立幼稚園・認定こども園協会
総務部副部長、桐生市・のびのびこども園
／須田征洋

未来の幼児教育の充実にむけて

(一社)兵庫県私立幼稚園協会は設立80周年を迎えました。その長い歴史の中で一貫して地域の幼児教育と保育の充実、質の向上に努めてきました。特に優れた保育士・幼稚園教諭の採用、研修は教育・保育の質の向上には欠かせません。兵庫県では、私立幼稚園の団体である兵庫県私立幼稚園協会と兵庫県保育協会、神戸市私立保育園連盟、姫路市保育協会、西宮市私立保育協会の県下の全私立保育所団体で構成する「兵庫県内認定こども園関係団体協議会」が設立されています。県行政当局も交え、定期的に研修企画や情報交換を行うほか、行政に対する要望活動を行っています。また、人材確保が困難な状況が続いており、その解決のために幼稚園協会と県下の全保育所団体が合同で就職フェアを開催し、採用・就職活動を支援しています。また、協会は受け皿としての各園の在り方等を教員養成校と連携して様々取り組んでいます。教員の研修やECEQ®、マネジメント研修等を通じてより質の高い幼児教育施設の充実に努めています。

県下の公立中学校が中学2年生を対象に独自の事業として「トライやる・ウィーク」と呼ばれる地域での職場体験活動等を通じて自分の生き方を見つけられるよう支援をしています。その中で幼児教育現場を経験する生徒も多くおり、将来幼児教育保育を志す若者が一人でも多く夢をもって活躍できることを願って、生徒たちに幼児教育の魅力を伝えようとしています。いずれ彼らが保育士や先生となって未来の幼児教育を担ってくれることを信じています。協会としてより質の高い保育・教育に努め、夢のある教育環境の充実を目指しています。

(一社)兵庫県私立幼稚園協会理事、宝塚市・宝塚厚生幼稚園／岡野泰和

編集後記

今年の梅雨は、二週間ほど早く明けてしまい、晴天が続くのは良いけれど、その分夏になったら水不足等、大丈夫かなと心配していたのが六月末頃の事です。ただ当時も、梅雨は一旦明け、また戻ってくると言う様な予報はされていました。それが今まさに的中し、八月初旬から、全国各地で記録的な大雨が続いております。私の住む石川県小松市も例外では無く、河川が氾濫し、多くの世帯で床上浸水の被害が出ました。幼稚園は被災を

免れましたが、今もなお、駄目になってしまった畳や家具等の運び出し。それを終えると泥の掃き出し作業と、日常を取り戻す為に苦勞されている方が沢山いらっしゃいます。そんな中、本園にも他県の幼稚園のお仲間より、お見舞いの電話やメールを頂き、この連合会があったからこそ繋がりなのだと、しみじみ感じ入り、心が少し温くなりました。

(広報委員・遠州 賢)

園児たちの日常や
伝えたい情報を
写真・動画で。

森の
掲示板



- 簡単な操作
- 動画の音声やBGMの設定が可能
- 設置場所はどこでもOK

森をモチーフにしたデジタルサイネージ。まるで自然の中で子どもたちが楽しんでいるかのよう♪園の入口で目を引くかわいいデザインです。

開発・販売



株式
会社

チャイルド社 コンピュータ部

〒167-0052 東京都杉並区南荻窪4-39-11
ホームページ : <https://www.child.co.jp>



遊具 : HOUSE

未来は、あそびの中に。

偉大なる発明も、世界を変えた公式も、
あそびから生まれた。

あそびは、すべての創造の源です。

あそび力を伸ばすことは、未来を切り拓くこと。
創造力をのばす。共感力をはぐくむ。ルールをまなぶ。
あそびから、こどもは無限の力を羽ばたかせていく。

あそびの環境に、あざやかな驚きを。

私たちは、未来をつくる仕事です。



JAKUETS